

環 環 管 第 1 5 号
令和元年7月10日

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
理事長 北村 隆志 様

京都市長 門川 大作

〔 担当 環境政策局環境企画部環境管理課
TEL: 075-222-3951 〕



北陸新幹線（敦賀・新大阪間）計画段階環境配慮書案に対する意見について

令和元年5月31日付けで提出されました標記配慮書案について、京都市環境影響評価等に関する条例第13条第1項の規定に基づき、別添のとおり環境配慮の観点からの意見を述べます。

なお、本事業の実施に当たっては、工法や工事関係車両の通行など、工事中の影響が大きいと想定できることから、方法書段階以降において、市民生活や都市機能への影響を最小化するよう慎重かつ十分に検討されることを求めます。

(別 添)

北陸新幹線（敦賀・新大阪間）計画段階環境配慮書案に対する意見

京 都 市 長

- 1 今後、ルートを検討に当たっては、地下水の保全や活断層の安全性に十分配慮するとともに、病院や学校等の社会的環境も考慮すること。
- 2 京都市は、地下水が豊富であり、生活や産業等において幅広く活用されていることから、地下水の水質及び水量への影響を可能な限り回避・低減するため、十分な調査及び配慮を行うこと。
- 3 本意見に基づき、今後の事業推進に当たっては、地下水をはじめとする京都の豊かな自然環境、文化財、市民生活や経済活動などに影響が及ばないよう、丁寧な調査と説明を行うこと。